

題名：六甲アイランドで約 2m の高潮による浸水を測定

調査内容：

平成 30 年 9 月 9 日に六甲アイランド、ポートアイランド、ハーバーランドの浸水高を GPS で計測しました。調査員は鈴木，鶴田，川口，朝比です。

調査結果：

図 1 は浸水深，浸水高，地盤高の定義であり，図 2 と図 3 は六甲アイランドとポートアイランド（ハーバーランド含む）の浸水高（基準水位 T.P.からの高さ）と浸水深（地盤上の浸水深さ）である。図中には、「浸水高（浸水深）」として表示している。一部、遡上高（Run up height）を計測した場所は、浸水深がゼロとなるので、「R 浸水高」と表示している。

- (1)六甲アイランドの東側では、浸水高（基準水位 T.P.からの高さ）が約 3.1～3.6m、浸水深（地盤上の浸水深さ）が約 1.4～2m と大きく、最も被害が大きかった。多数のコンテナや自動車が漂流した。
- (2)六甲アイランドの西側では浸水高が約 2.9～3.2m（浸水深が約 1m）であり、東側よりも若干小さい。浸水深は東側よりも小さいものの、広範囲に浸水が発生していた。
- (3)ポートアイランドにおいても広範囲に浸水が発生していた。ただし、浸水高は約 2.3～2.6m であり、六甲アイランド東側（約 3.1～3.6m）と比較すると最大約 1m 小さい。浸水深は六甲アイランドよりも小さい。
- (4)新港第一突堤，ハーバーランドでは浸水高が約 2.6～3m とポートアイランドよりも高く，浸水深も約 1m 発生していた。
- (5)神戸では西から東に向けて，かつ，沖合から沿岸に向けて浸水高（基準水面 T.P.からの浸水高さ）が大きかった。

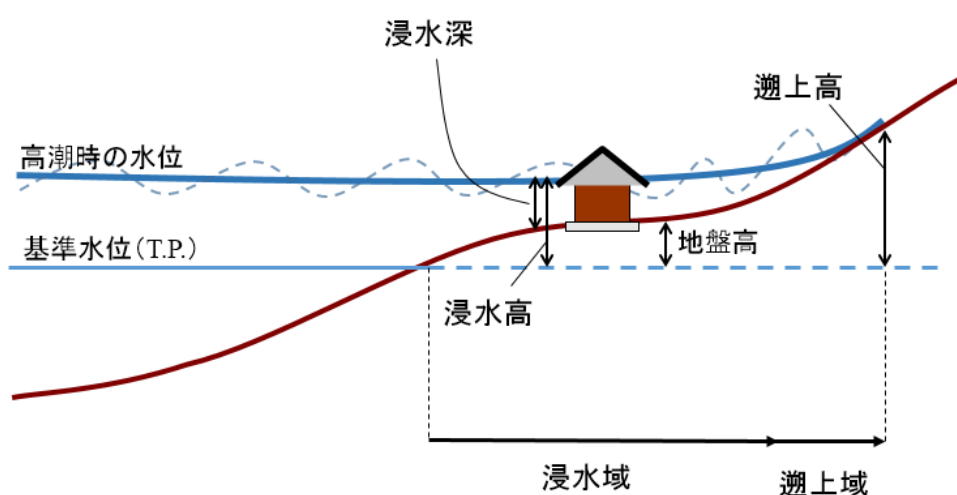


図1 浸水深，浸水高，遡上高の定義



図2 六甲アイランドの浸水高(浸水深)



図3 ポートアイランドの浸水高(浸水深)